

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	C、7・8組	芸術	書道 I	全	選択	1

講座のねらい

- 1、小中学校での書写を基本に、文字を素材とした芸術としての書道を学び、古典に基づく表現力・鑑賞力を身に付けます。
- 2、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・硬筆と幅広い活動を通して書に興味を持たせ、豊かな感性と表現力を身に付けます。

使用教材及び問題集

書道 I（光村図書）
毎時間、学習の為のお手本を配布します。

授業の内容と進め方

基本的な用筆法・執筆法・姿勢を確認しながら、各章の活動内容の目標を説明した上で、机間巡視をしながら、実技指導を行います。授業の終わりには作品を提出するように指示をします。

講座の到達目標

書の文化に親しみと関心を持たせ、中国や日本の古典作品の臨書を通じて表現技法や鑑賞力を養います。また、実用書の練習を通じて書写能力全般を高めることを目標とします。

評価の観点・テスト・課題など

- 評価は具体的に次のものを対象にします。
- ・各時間提出した作品（表現技法・鑑賞力など）
 - ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意欲など）に基づく平常点
 - ・忘れ物やマナー面
- 1年間の評定は上記の内容を総合的に判断します。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容
<p>書道に必要な用具・用材や姿勢・執筆法について学びます。 漢字の成立と変遷について学び、楷書の用筆・運筆・結構を理解し、練習します。 唐の4大家の作品を鑑賞し、臨書練習します。 それぞれの書風の違いを理解した上で漢字仮名交じりの書を書きます。</p>
2 学期 学習計画および学習内容
<p>行書の用筆・運筆・字形の取り方・特徴について学びます。 中国や日本の古典作品を鑑賞し、臨書練習を通してそれらの用筆・運筆・字形の取り方を学び、書風の特徴や違いを理解します。 隸書について執筆法を学び、練習します。 毛筆や硬筆を用いて実用書の練習をします。</p>
3 学期 学習計画および学習内容
<p>小筆を用いて、実用書の学習をします。宛名書き、手紙文などを勉強します。</p>